



http://www.sakanakun.com

オリンピックの感動い  
いっぱいの夏!! なんと

!! オリンピックのタコ

版!! もこの夏、ギョ開催

されました。その名もた

こリンピック イン明石

2016」。タコがギョじ

まんの八つのまちが兵庫

県明石市に大集合ギヨー

(大集合)!

さかなクンは、小学2

年生のときに同じクラス

の男の子が描いたタコの

絵を見て感動してタコや

お魚が大好きになりました。だから、タコちゃん

は、さかなクンの原点!!

でもあります。



## たこリンピック開催!

### タコだけに八つのまちが集合



約4千人のお客様が集まった  
「たこリンピック in 明石」

片手でいただける「南三陸タコロール」



たこ焼きだと思って口に入れると、ギョギョギョ~!!  
タコの入ったライスコロッケでした

「さかなクンが『明石たこ大使』になつてから、明石がぐんぐん元気になつてしまつた!!」と、明石市の泉房穂市長さま(左)。とってもうれしいです!! すべて5日、兵庫県明石市の市立産業交流センターで

マダコの水揚げ量日本一の明石の海は「タコの聖地」! 激しい海流の中で明石の海のマダコちゃんは「明石たこ」と呼ばれ、「明石のタコは立派歩く」といわれます。さかなクンはあこがれの明石市の「明石たこ大使」を2013年からつとめさせていただいています。集まつたのは宮城県南三陸町、茨城県ひたちなか市、千葉県いすみ市、か市、千葉県いすみ市、岡山県倉敷市、広島県三原市、福岡県北九州、熊本県天草市、そして明石市です。各地の代表のタコちゃんが集まつて、それぞれ水槽の中でせまいすきまと通つてひんのふたを開ける競技などが行われました。

集まつたのは宮城県南三陸町、茨城県ひたちなか市、千葉県いすみ市、岡山県倉敷市、広島県三原市、福岡県北九州、熊本県天草市、そして明石市です。各地の代表のタコちゃんが集まつて、それぞれ水槽の中でせまいすきまと通つてひんのふたを開ける競技などが行われました。

明石のタコは貝やエビやカニを食べて、明石海峡の激しい波にもまれて育ちます。身がよく縮まりついて、夏においしい旬を迎えます。いっぽう南三陸のタコはなんと! 高級な海産物でもあるアワビ(エゾアワビ)も食べているのだそうです。豪華ですね。そして冬はマダコがとれ、夏にはミズダコがとれるうれしい海でギョざいます!!

たこリンピックでは、

「南三陸タコロール」はタコミートソースをトルティーヤ生地で巻いたナガダコなどがぐらします。特にマダコは東北から九州まで広い地域で親しまれています。アフリカなど海外でもどれます。同じマダコでも、食べているものや育つ海によって味は大きく変わります。

明石のタコは貝やエビやカニを食べて、明石海峡の激しい波にもまれて育ちます。身がよく縮まりついて、夏においしい旬を迎えます。いっぽう南三陸のタコはなんと! 高級な海産物でもあるアワビ(エゾアワビ)も食べているのだそうです。豪華ですね。そして冬はマダコがとれ、夏にはミズダコがとれるうれしい海でギョざいます!!

たこリンピックでは、

子どもたちが市からは「タコのアランチーニ」。タコの入ったリゾットをまん丸いライスコロッケに仕上げた一品。北九州市の「タコのぬか焼き」は漬物の「ぬかごこ」にタコを漬け、ゆずこしようをきかせたちよつり大人の味です。どれもおいしくて、幸せいっぽいになりました!

明石市の泉房穂市長は、代々たこ漁師さんのうちで、さかなクンを「たこ大使」に任命してくれたから、たこさん(たくさん)お会いして、タコをたこさん盛り上げるためのアイデアをいっぱい!! ギョいつしょに考えていました♪ 今回のたこリンピック開催のきっかけは、3年前の泉市長と佐藤仁・南三陸町長との出会い。「西の明石、東の志津川」といわれるタコの名産地どうし、いつもにまぢづくりを盛り上げましょう」と約束されたそうです。

来年は「たこサミニト」として、タコの特徴やくらしこも学ぶ、楽しいもよおしが明石で開かれるそうです。